

笑ってごらん

第514号 H.27.5.27発行

～今日のことば～

顔は笑顔

心に感謝

背中に誇り

◇◆23 日(土)、吹上浜海浜公園人工芝サッカー場で行われた県高校総体女子サッカー決勝戦の応援に生徒203名と共に出向いた。前半1点のビハインドでしばらく膠着状態が続き、後半に追加点を喰らい0-2。その後激しい攻防戦の末、念願の1点をたたき出したものの、及ばず1-2で敗戦。でも、よく走っていた。スピード面では決して劣ってはいなかったと思う。次の試合までに反省点を克服できるよう、練習に力を注いで欲しい。急増ながら応援団の皆さんもよく声が出ていたし、矢継ぎ早に応援フレーズが繰り出されていて大満足だった。お疲れ様。ありがとう。 ◆24 日(日)、午前中時間があったので、知覧テニスの森で行われていた県高校総体女子テニス決勝戦の応援に出かけた。そこそこ温かかったので、ポロシャツにスポーツベストの格好で行ったら、現地は標高高い場所ゆえに気温が低く、おまけに時折小雨が降ったり、風が吹き付けたりで、殊の外寒い！ 保護者やテニス部員からも「先生、寒くないですか？」と心配される始末。終始チキン肌化している腕をさすりながらの応援であった。準決勝戦を危なげなく早々と勝利し、もう片方の試合が終わるのを待っていた本校チーム。試合の疲れは十分に癒やすことができるだけの時間が与えられた状況だったが、如何せん寒い。身体が冷えすぎてしまうのではないかと心配してしまった。自分たちの準決勝戦が終わってから約40分後に決勝戦(対鹿児島純心高)は始まった。試合開始直後の動きは上々、身体の冷えすぎの心配は徒労に終わったようだ。ただ、ダブルスが1セット目から苦戦を強いられ、タイブレークまでもつれ込みながら気迫のセット勝利を得た。2つのシングルスはどちらも序盤から強気の攻めを見せた。途中押され気味の時間帯もあったが、最終的には2セット先取で勝利を收め、その時点でダブルスは打ち切り、本校チームの勝利が確定した。 ◆残念ながら応援に出向けなかつたが、同じ時間帯に鹿児島市で行われていた男子テニス決勝戦は、鹿児島実業高相手にかなりの苦戦を強いられ、すべてフルセットまで勝負がもつれ込む大接戦だったよう。にも関わらず、気持ちで負けなかつた本校チームが勝利を收め、全国大会の切符を手にした。女子11連覇、男子14連覇。継続連覇は選手達にとってプレッシャー以外の何物でもないだろう。今年もまた優勝旗を持ち帰ってくれる選手達を誇りに思う。九州大会・全国大会ではさらに羽ばたいて欲しい！ ◇◆どうも喉の調子がいまひとつ。2週間ほど前に風邪症状になったのを境に優れない…。肩も凝るし、腰も痛い。夕方になると目がかすむ。何だか急にガタが来たみたいでショックを禁じ得ない。仕事上では「エアコンが壊れた」、「雨漏りが…」、「漏水が…」など、永年頑張ってきた施設・設備が悲鳴を上げ始めている。人間も機械も経年劣化なのか…。淋しい。



◇◆「愛を表す10の方法」という記載に目がとまった。「愛を表す」なら、全て当たり前のようなことが並んでいるのだが、カッコ内のがなかなかできずにいる…

耳を傾ける（途中でさきぎらずに）

話す (相手を書めずに)

与える（惜しまず）

祈る（絶え間なく）

答える（言い争わずに）

分かち合う（本心から）

樂します（文句を言わず）

信頼する（迷うことなく）

赦す (罰を与えずに)

約束する（忘れることがないように）

感謝道

